

	コード	名 称	区分	コード	名 称			
事業名	695	避難所誘導標識等設置推進事業	会計	01	一般会計			
			款	02	総務費			
			項	01	総務管理費			
基本 施策	15	自然災害等への十分な備えをする	目	20	防災費			
			細目	153	防災対策経費			
行革大綱の重点事項番号		4・7		細々目	56	避難所誘導標識等設置推進事業		
担当部課	コード	300100		担当者 氏 名	亀井 英樹	連絡先	22 -	9640
	名 称	総合危機管理室					(内線)	2322

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)		市民、物資等支援団体		※対象件数	
成果(どうする)		市指定避難所の場所が、分かり易くなる。			
根拠法令・要綱等		三重県避難誘導標識等設置指針			
開始年度	平成 17 年度	関連事業			
終了年度	平成 32 年度				
H21 事業 内容	H17年度、設置箇所32箇所				
	H18年度、設置箇所15箇所				
	H19年度、設置箇所 7箇所				
	H20年度、設置箇所 6箇所				
	H21年度、設置箇所 3箇所 合計箇所63箇所				
	避難所誘導標識等設置計画に基づき、市指定避難所への誘導標識の整備を図る。				
社会情勢 の変化等		市指定避難所 108箇所 誘導標識設置箇所 63箇所(58. 3%) 今後の校区再編に伴う、避難所の見直しにより、新規、撤去、変更等が発生する。			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	市指定避難所	108箇所
2 建設面積 (延床面積)		
3 規模・構造		
4 総事業費	22,327	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	目標		
			実績	実績		
			目標	目標		
	誘導標識設置数	基	6	3	3	4
			6	3		
			目標	目標		
			実績	実績		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標		
				実績	実績		
				目標	目標		
	誘導標識設置率	誘導標識設置箇所数	%	61	60	61	65
				56	58		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入 コスト			H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
	直接事業費計 (A)		(千円) 1,207	(千円) 930	(千円) 900	(千円) 1,200
	A の 財 源 内 訳	国庫支出金	1,207			
		県支出金				
		地方債				
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	930	900	1,200
	事業投入人件費 (B)		0.3人 2,160	0.3人 2,160	0.3人 2,160	0.3人 2,160
	フルコスト(A)+(B)		3,367	3,090	3,060	3,360

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)
必要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		有事に備え、指定避難所の表示は近隣住民にとって必要不可欠である。
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○	
有効 性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
達成 度	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
効率 性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	防災という目的上、対象は全市民であり、有事の際の避難所の表示は必要である。
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○	
達成 度	当初設定した計画を	100%	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無	
達成 度	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
効率 性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		防災という目的上、費用対効果は求められない。
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。		
達成 度	全体コストにおける負担構成は適正である。		
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	地域防災計画における市指定避難所の見直しを早期に完結させ、年次的に行っている残事業の工事発注を一括発注し、コスト削減を図る。
昨年度 の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】
108箇所の市指定避難所のうち、3箇所の避難所に誘導標識を設置した。	

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	福本 敏彦
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】
	災害時に安全で円滑な避難を行うため、「引き続き、避難所誘導標識の整備を実施する。
現時点における課題、その他	避難所誘導標識の設置経費が高い。
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	平成22年度中に財源の確保について検討する。